

令和 5 (2023) 年度流域モニタリング一斉調査結果 (東三河地域)

1 背景

水循環再生行動計画では、水循環に対する県民意識の向上を図るため、気軽に参加できる水環境の調査として、「流域モニタリング一斉調査」の実施を位置付けています。

この一斉調査は、水質・水量・生態系・水辺といった水循環に関する項目からなる「水循環再生指標」(平成 19(2007)年 7 月作成)を活用したもので、平成 21(2009)年度から実施しています。水循環再生に向けた取組の評価や見直しに活用するだけでなく、流域全体の状況把握や流域内の連携向上を期待して行っています。

2 参加者の公募状況

幅広い県民を対象に流域モニタリング一斉調査の参加を促すため、事務局(県環境局環境政策部水大気環境課)が令和 5 (2023) 年 3 月 29 日から参加者を公募しました。

また、市町村には参加者公募の広報を依頼し、31 の市町村が広報、ホームページ、チラシ等を活用して公募を行いました。

表 1 公募状況

地域名	広報	ホームページ	チラシ	複数 (広報+チラシ等)	その他	合計
尾張地域	2 (3)	1 (3)	3 (1)	7 (6)	0 (0)	13 (13)
西三河地域	3 (3)	3 (2)	1 (1)	6 (5)	0 (0)	13 (11)
東三河地域	2 (1)	1 (2)	0 (0)	2 (2)	0 (0)	5 (5)
合計	7 (7)	5 (7)	4 (2)	15 (13)	0 (0)	31 (29)

※ () 内は、令和 4 (2022) 年度の状況を示す。

参考

	広 報	ホーム ページ	チ ラ シ	複数 (広報+チラシ等)	その他	合 計
令和 4 (2022) 年度	7 (1)	7 (2)	2 (0)	13 (2)	0 (0)	29 (5)
令和 3 (2021) 年度	9 (2)	3 (0)	4 (1)	12 (2)	1 (1)	29 (6)
令和 2 (2020) 年度	10 (3)	3 (0)	4 (2)	12 (1)	0 (0)	29 (6)

※ () 内は、東三河地域の状況を示す。

< 広報参考例 >

流域モニタリング一斉調査
 環境清掃課 ☎ 57-4100
 ID 0244431
 河川やため池など身近な水環境を調査します。
 と き 6月5日(月)～9月30日(田)
 ところ 身近な川、湖、海、水路、ため池など
 申し込み 5月16日(火)までに電話またはメールで、住所・氏名・電話番号を環境清掃課 (✉ kankyo@city.gamagori.lg.jp) へ。
 ※小学生以下は保護者同伴。

広報がまごおり 令和5年5月号

流域モニタリング一斉調査の参加者募集

身近な水辺(川、やため池、湖、水路、海辺など)で「水のきれいさ」、「水の量」、「生態系」、「水辺のようす」を調べ、所定の調査票に記入して報告してください。

○調査内容
 この調査は、参加者の五感により水の色やにおいを評価するもので、どなたでも簡単に実施することができます。

○対象
 どなたでも参加できます(小学生以下の方は、保護者の方と一緒に参加してください)。

○調査時期
 6月5日(月)～9月30日(田)
 (注) 期間内に調査ができない場合は、調査日を変更できます。

○募集期間
 5月8日(月)～8月18日(金)

○申込・問い合わせ先
 生活課 ☎(57)202020



広報したら 令和5年5月号

3 参加者の実施状況

表2 実施状況

地域名	実施状況(令和5(2023)年度)			
	市町村数	参加団体数	延べ参加人数	延べ調査地点数
尾張地域	7 (7)	45 (42)	312 (205)	60 (45)
西三河地域	12 (9)	59 (57)	497 (430)	195 (195)
東三河地域	3 (4)	3 (6)	61 (103)	7 (23)
合計	22 (20)	107 (105)	870 (738)	262 (263)

※ () 内は、令和4(2022)年度の状況を示す。

※前年度とも水質環境目標値市民モニタリング(名古屋市・夏期)及び油ヶ淵流域水環境モニタリングを含み、伊勢湾流域圏一斉モニタリング(国土交通省・中部地方整備局)は含まず。

< 参考 >

	市町村数	参加団体数	延べ参加人数	延べ調査地点数
令和4(2022)年度	27 (4)	127 (11)	1,115 (210)	340 (53)
令和3(2021)年度	20 (3)	114 (8)	968 (98)	358 (33)
令和2(2020)年度	17 (4)	103 (4)	591 (111)	180 (43)
令和元(2019)年度	21 (4)	121 (14)	973 (296)	220 (36)
平成30(2018)年度	20 (5)	104 (7)	937 (88)	160 (18)
平成29(2017)年度	21 (4)	108 (8)	1,273 (131)	196 (25)
平成28(2016)年度	24 (4)	122 (8)	1,271 (124)	196 (20)
平成27(2015)年度	27 (5)	127 (9)	1,207 (104)	213 (19)
平成26(2014)年度	16 (3)	120 (5)	691 (119)	146 (10)
平成25(2013)年度	21 (4)	103 (4)	913 (104)	141 (11)

※ () 内は、東三河地域の状況を示す。

※水質環境目標値市民モニタリング(名古屋市・夏期)を含む。平成27(2015)年度以降は伊勢湾流域圏一斉モニタリング(国土交通省・中部地方整備局)、令和3(2021)年度は油ヶ淵流域水環境モニタリングを含む。

4 調査結果

(流域別及び各調査地点の評価については別紙参照)

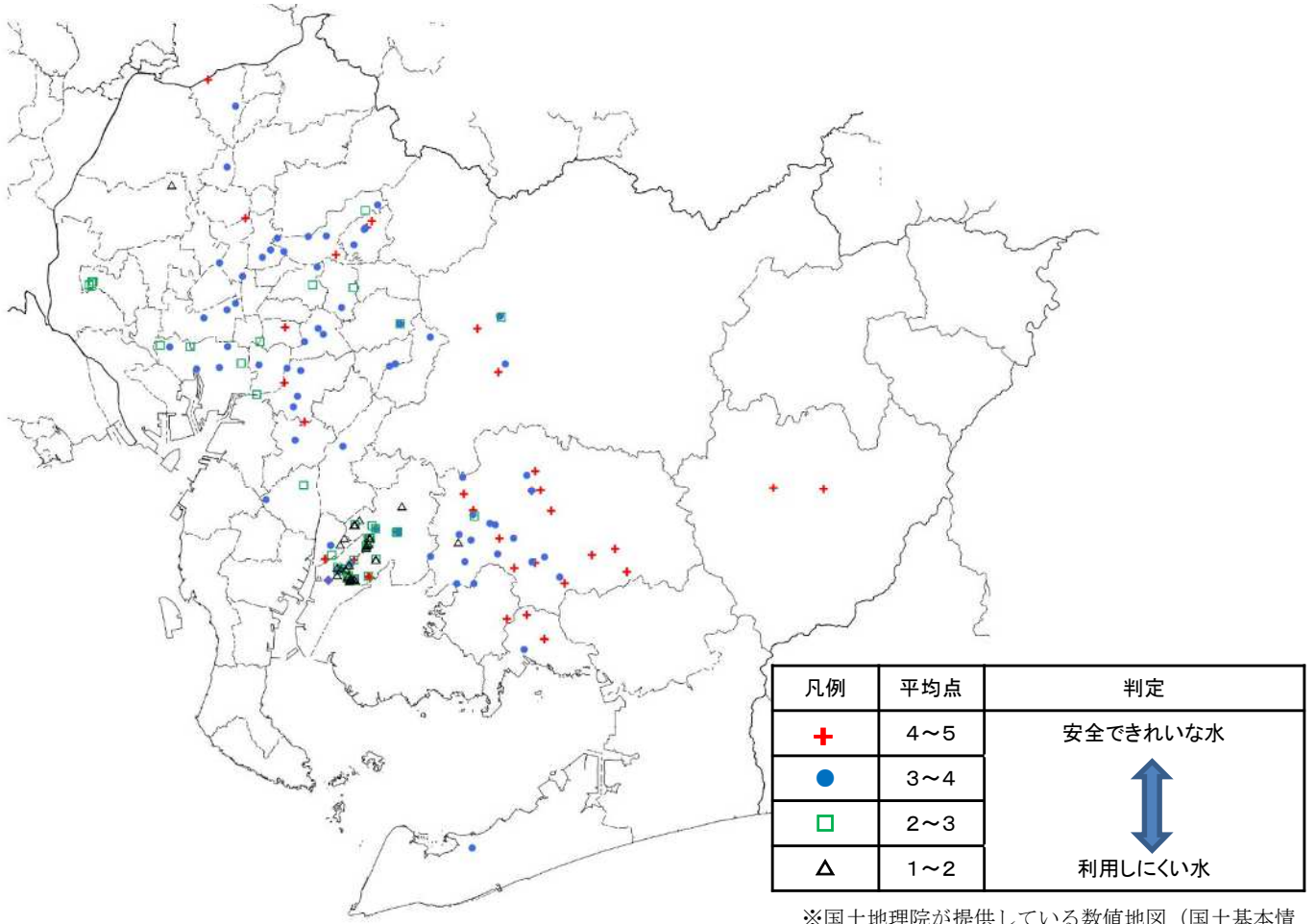
- 延べ参加人数は 870 人（昨年度比 18%増*）、延べ調査地点数は 262 地点（昨年度と同等*）でした。

尾張地区では、参加団体数、延べ参加人数及び延べ調査地点数が昨年度を上回る結果となりました。西三河地区では、市町村数、参加団体数及び延べ参加人数が昨年度を上回る結果となりました。東三河地区では、市町村数、参加団体数、延べ参加人数、延べ調査地点数すべてにおいて昨年度を下回る結果となりました。

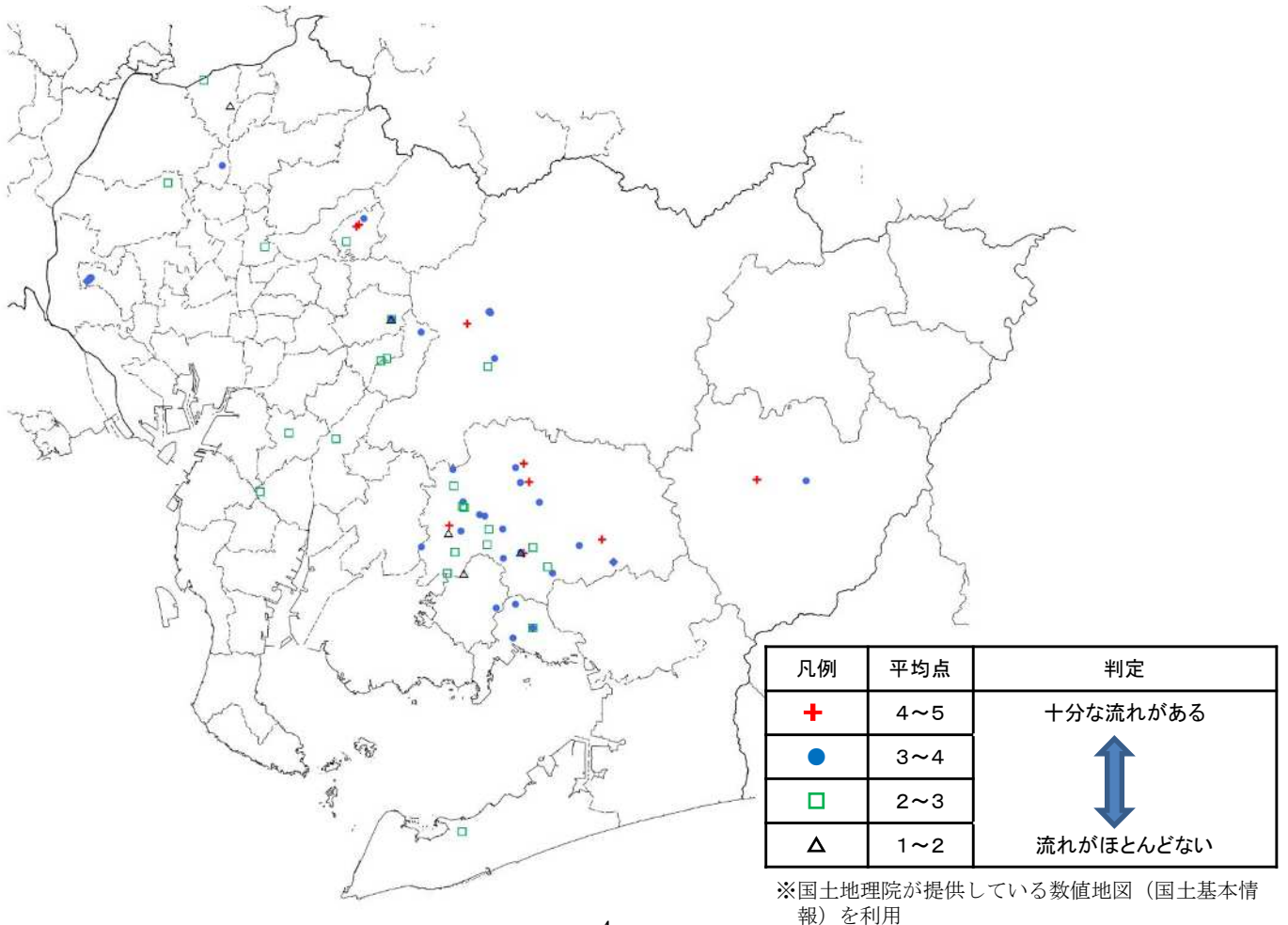
※令和 5 年度の伊勢湾流域圏一斉モニタリング（国土交通省・中部地方整備局）の提供を現時点で受けられていないため、当該調査を含まない比較。

- 各地域の調査地点は、多くが河川の中下流部で実施された評価となっています。
 - ・ 尾張地域：水質、水量、生態系及び水辺の 4 項目について、木曾川・庄内川等流域は 3.1～3.8 点、日光川等流域は 2.7～3.6 点、天白川・山崎川等流域は 3.2～3.7 点で、それぞれバランスよく評価されています。伊勢湾沿岸域（知多半島等）では、昨年度同様、調査未実施でした。
 - ・ 西三河地域：水質、水量、生態系及び水辺の 4 項目について、三河湾沿岸域（知多半島等）は 2.5～3.3 点、境川等流域は 2.9～3.9 点、矢作川等流域は 3.4～3.9 点で、それぞれバランス良く評価されています。油ヶ淵等流域では、水質は 2.9 点、水辺は 2.8 点で、概ね昨年度と同様の結果となっており、水量及び生態系の 2 項目は評価の実施はありませんでした。
 - ・ 東三河地域：当地域の豊川・天竜川等流域、三河湾沿岸域（豊川・蒲郡）及び三河湾・外海沿岸域（渥美半島等）では、水質、水量、生態系及び水辺の 4 項目が 2.7～5.0 点とバランス良く、また他の地域と比較し高く評価されています。特に、水質は 3.2～5.0 点で、昨年度同様、高い評価点となっています。
- 今後とも、県域全体の評価がバランス良く行えるように、モニタリングの参加者の増加を目指します。

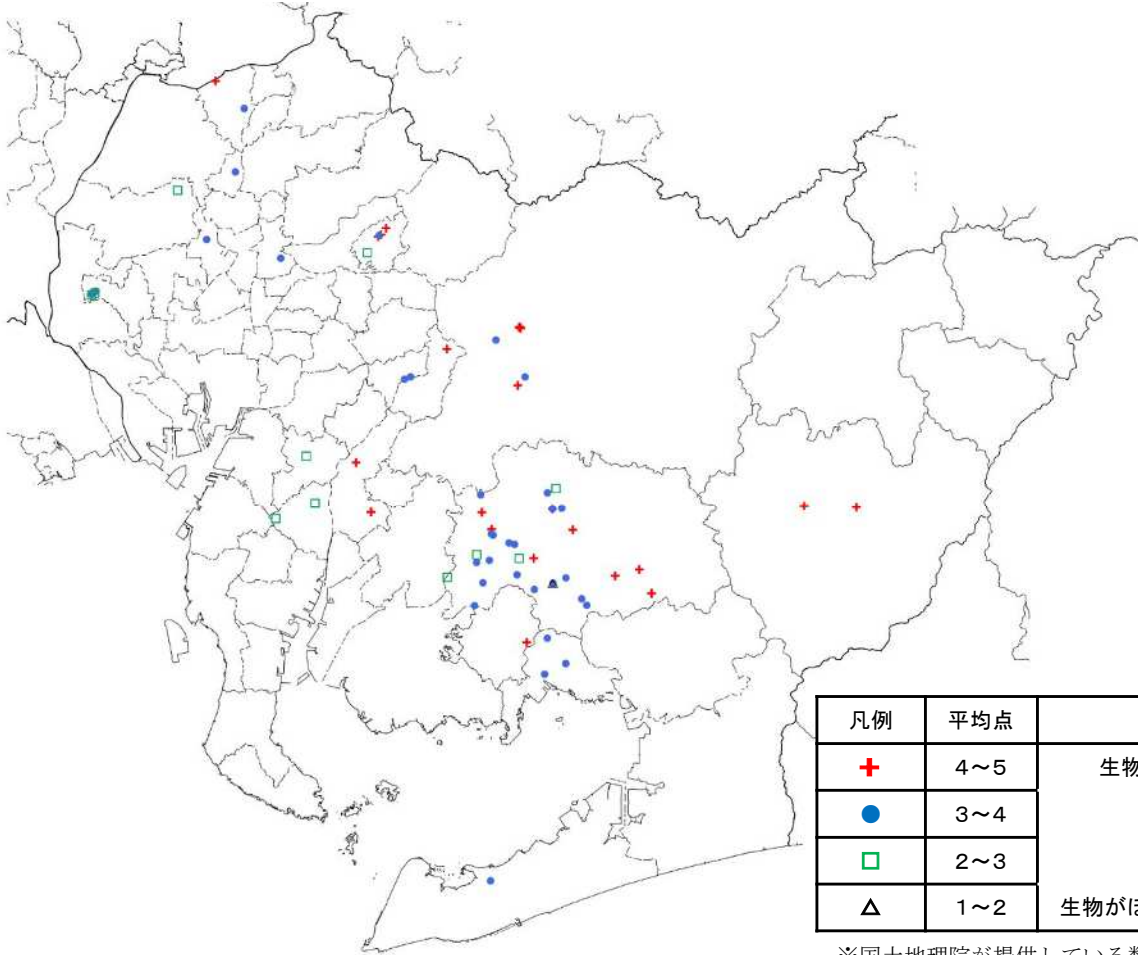
令和5（2023）年度 流域モニタリング一斉調査結果（水質）



令和5（2023）流域モニタリング一斉調査結果（水量）

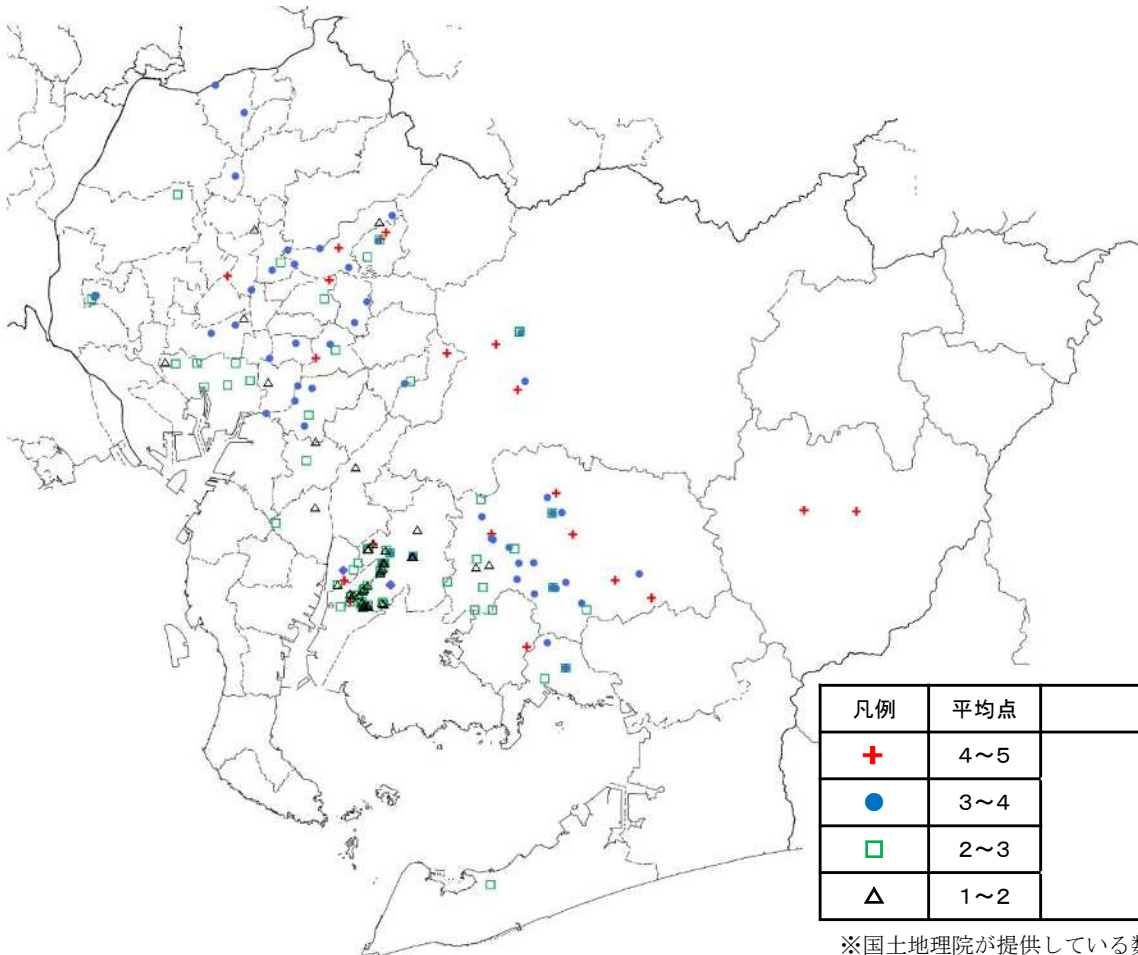


令和5（2023）年度 流域モニタリング一斉調査結果（生態系）



※国土地理院が提供している数値地図（国土基本情報）を利用

令和5（2023）流域モニタリング一斉調査結果（水辺）



※国土地理院が提供している数値地図（国土基本情報）を利用

令和5（2023）年度 流域モニタリング一斉調査結果（流域別とりまとめ）



- ※1 流域名の後ろの【 】内の数字は地点数を示しています。
- ※2 油ヶ淵等流域の調査結果の水量及び生態系の調査はありませんでした。
- ※3 伊勢湾沿岸域（知多半島等）の調査はありませんでした。
- ※4 国土交通省中部地方整備局が実施した伊勢湾流域圏一斉モニタリングの調査結果は含まれていません。